



にじいろ通信 No.26

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

ありがとうございます。令和もにじいろは頑張ります!!

にじいろのご利用について 定員 10 名 早めに声を掛けてください!

「新生活応援します」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

新年度になり、にじいろも新しい児童を迎え、にぎやかになりました。「令和」の新元号を迎えるこの節目と春という季節も重なり、ワクワクした気持ちの変化は大人も子どもも一緒ですね。

節目と言えば、先月にじいろを卒業した児童のご家族から、『放課後だけとはいえ、にじいろで様々な体験をさせていただいたことや、過ごす場所があったことが本人の力になった』というお言葉をいただきました。にじいろの目指すところは「ご家庭と学校とは違う環境で楽しく安心できる場所になること」なので、本当に嬉しいお言葉でした。一方で「たかが放課後の何時間だけで何ができるのか、期待していない」という厳しい言葉を耳にするこ



4/3 宇都宮にある「子ども総合科学館」に出かけました。屋外での遊びも豊富ですし、館内は見ても触って、体を使った科学の不思議体験がたくさんあり、楽しめました。



3/29 手作り餃子に挑戦です。簡単な道具を使って作りました。皮に具をのせて、ギュッと握れば出来上がり。カッコイイ餃子が出来ました。焼きたては美味しかったね♪

ともあります。今回のお褒めの言葉を謙虚に受け止めていきたいと思えます。もう一つ節目で感じるのは、子ども達の成長が素晴らしいことです。それぞれが進級し新しい環境の中で頑張っていることを感じます。そんな子ども達の成長を助けるのは特性に合った環境調整です。「人」も環境の一つなので、周りの人に特性を理解してもらい、一緒に生活環境を調整し、支援されることが大切です。特性が弱点になってしまうのは、特性の理解を得られずに無理を重ねたことで「自己肯定感」や「自尊心」を傷つけてしまう事です。子どもの成長の基盤は、成功体験を重ねて、しっかりと褒められて愛されていることを実感することだそうです。それを意識して、にじいろは今年度も様々な活動を企画します。そして楽しい経験を積み重ねてほしいと思います。ちなみに5/1は健翔会にて「ありがとうございます。令和 祝賀会」を行います。ちょっとかしまった立食パーティーを経験してみようと本部が考えてくれました。



天気も良くて、外遊びも楽しめました。大きなH IIロケットがかっこよかったよ。



押しあう力で、作用・反作用を体験しました。えい!!



4/17 「川の博物館」へ出かけました。ウォーターアスレチックではたくさんのアトラクションを楽しみました。池に落ちた人は誰かな?



この部屋は、パブリーな時代を体験できます。札束があふれた机には「しももー」と大きな携帯電話がありました。

- ★5月のにじいろ 5/1 天皇即位の日「ありがとうございます。令和 祝賀会」
- 5/3 レクリエーション「段ボールゲームセンターへようこそ」 5/6 工場見学「グリコピア」 5/7~母の日制作
- 5/31 理科実験「吹き独楽(こま)」
- ★にじいろで欲しいもの 知育玩具 トランポリン レジスター(玩具) バランスボール タブレット
- ★ありがとうございました 奥墨様、清水様、吉野様、横田様・お菓子